

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2017年1月20日（金）

第711号 本号3分

速報 第193 通常国会開会！

国会前集会（総がかり行動実行委員会主催）で市民と野党が「連帯」を決意

国会開会日の20日、12時からは衆議院第二議員会館前から参議院議員会館前にかけて、総がかり行動実行委員会が呼びかけ、主催した国会前集会が行われました。集会には市民ら600人と衆参の国会議員が参加しました。

実行委員会の発言（主催者あいさつ＝福山真劫実行委員会共同代表、行動提起＝米山淳子実行委員会運営委員）、政党代表が発言（民進党＝福山哲郎参院議員、日本共産党＝参加16人を代表して井上哲士参院議員、社民党＝福島瑞穂参院議員、自由党＝デニー玉城衆院議員、沖縄の風＝参加2議員を代表して伊波洋一参院議員）などがされ、市民と野党の連帯が確認されました。【詳報続報】

「共謀罪提出を許さない1・20院内集会」に会場いっぱいの340人

午後2時からは参議院議員会館講堂で「秘密保護法、戦争法と一体話し合うことが罪になる共謀罪 国会提出を許さない1・20院内集会」がひらかれ、会場いっぱいの参加者は、共謀罪を断固として阻止する決意を固めました。「秘密保護法」廃止へ！実行委員会、解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会、日本マスコミ文化情報労組会議（MIC）、盗聴法廃止ネットワークの共催。

集会では、民進党、日本共産党、社民党、自由党、沖縄の風の国会議員が多数参加、真山勇一参院議員（民進）、福島瑞穂参院議員（社民）、仁比聡平参院議員（共産）が発言、主催者あいさつ、冤罪被害者の発言、横浜事件国賠訴訟原告などが発言しました。【詳報続報】

安倍政権の暴走止めよう！自衛隊は南スーダンから撤退を！ 総がかり 1・19 国会議員会館前行動に3,000人

衆議院第二議員会館前～国会図書館前で19日、『安倍政権の暴走止めよう！自衛隊は南スーダンからただちに撤退を！1・19国会議員会館前行動』が開催されました。「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」が呼びかけ主催したものです。

総がかり行動実行委員会の小田川義和共同代表は、「戦争する国ではなく一日も早く憲法9条の国に戻さなくてはいけない。安倍政権を打倒するために『本気の共闘』を強める声をあげよう」と訴えました。

政党からは民進党の近藤昭一衆院議員、共産党の井上哲士参院議員、社民党の吉田忠智党首、「沖縄の風」の糸数慶子参院議員があいさつしました。井上氏は20日開会する国会に名を変えて「共謀罪」が提出されようとしているとして、その危険性をきびしく指摘しました。また、吉田氏は共産党の大会で自由党や民進党の代表らとともにあいさつしたことを報告し、総選挙に向けた野党共闘が進めるとの決意を語りました。

また、安保法制違憲訴訟の会の武谷直人弁護士ら3人がスピーチしました。



共謀罪法案の国会提出を許すな！院内集会

全労連・国民救援会・自由法曹団

憲法改悪を狙う安倍政権は、国民の悪政に反対するたたかいを抑えようと、秘密保護法や盗聴法の大改悪に続き、「共謀罪」の新設を狙っています。その「共謀罪」の国会提出を許すなど、「共謀罪法案の国会提出を許すな！2017・1・19 院内集会」が19日、衆院第二議員会館で開催されました。主催は、全労連、国民救援会、自由法曹団。「学んでたたかいの力に」として講演が中心となった集会には92人が参加しました。

主催者あいさつの後、駆けつけた日本共産党の藤野保史衆院議員と、仁比聡平参院議員が国会情勢報告を行い、畑野君枝衆院議員があいさつしました。仁比議員は、共謀罪法案は「検討中」の法案となっている。どんな言い方に変えていない。安倍首相や二階氏は何が何でも通す勢いだが、自公の議員のなかでは都議選を控え、困惑している状況も見られる。臨時国会での強行採決に見られた危険な安倍首相らに、共謀罪という「武器」を与えることは危険きわまりない。市民と野党との共闘の広がりの中でのたたかいとなる。まずは提出させないたたかいに全力をあげたい、と述べました。



講演した自由法曹団治安警察問題委員会委員長の三澤麻衣子弁護士は「テロ等準備罪＝従来の『共謀罪』そのもの」とのテーマで、2003年からの「共謀罪」法案の提出経過、この間の菅官房長官の発言を紹介して「テロ等準備罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案の問題点等を語り、政府の「従来の共謀罪とは全く違う」とする説明を「全く嘘」と指摘しました。

そして、①菅官房長官は「犯罪の主体を限定するなど一般の方々が対象になることはあり得ない」と説明しているが、「一般人」か否かを決めるのは政府や公安であり、対象犯罪も広く、「私は一般人だから関係ない」では済まされない、多くの国民が対象となる、②対象犯罪を676から300以下に減らしても、何ら変わらず本質は「一緒」、③国際組織犯罪某条約の締結のためと政府は説明するが、同条約は国際的マフィア等の対応の条約であり、もともと「テロ防止」目的ではない、④テロ対策に必要と説明するが、外務省のホームページで説明しているように、条約ではすでに13の条約を批准、法令もつくられており、それで対応でき、「テロ対策」は不要で当たらない、⑤東京オリンピック・パラリンピックのためと言われれば「しょうがないか」と思う国民がいるかもしれないが実は無関係、などの問題点を指摘しました。

「共謀罪」は、戦争法の成立（2015年）、刑訴法改「正」（16年）、そして戦争法を維持するための監視・密告社会づくり＝戦争する国づくりの仕上げとして位置づけられると強調しました。

講演への質問と発言では、「3分で説明するポイントは？」との質問に三澤弁護士は、①「一般人は関係ないという」という考え方に「そうじゃないよ」と伝える、②政府の監視対象者でなくとも、隣人・友人等が密告したり、警察がその気になったら、処罰される危険性があると伝える、③戦争する国づくりの仕上げとしての「共謀罪」について語る、と回答しました。

改憲へ踏み込んだ発言—安倍首相のハノイでの会見

安倍首相は16日、外遊中のハノイで記者会見しました。記者とのやりとりです。

毎日新聞 高橋記者

憲法改正について伺います。安倍総理は、党の仕事始めで、「新しい時代にふさわしい憲法はどんな憲法か。無今年は議論を深め、姿・形を表していく」と述べました。民進党の蓮舫代表も議論は歓迎する立場です。ご自身の総裁任期を来年秋に控え、発議までのスケジュールや改憲項目についてどのようにお考えでしょうか。お聞かせください。

安倍総理

今年は、日本国憲法の施行70年の節目の年に当たります。新しい時代にどのような憲法がふさわしいのか、国会の憲法審査会において、野党第一党の党首も議論をしていきたいとおっしゃられておられるわけですから、議論が深められ、具体的な姿が現れてくることを期待したいと思います。

このように安倍首相は、改憲原案を審査する権限を持つ機関である衆参の憲法審査会で、議論を深めて、改憲の具体的なテーマの絞り込みや、改憲原案の作成へとすすめたいと、改憲への執念を改めて示しました。

安倍首相と会談2日後、ドゥテルテ大統領が「軍事同盟は要らない」と演説

報道によると、フィリピンのドゥテルテ大統領は安倍首相との会談からわずか2日後の15日、「私は安倍に対して、軍事同盟はいらない、私は外国軍のいない国を目指すと言った」と述べました。

日本の外務省当局者は13日にドゥテルテ氏が「米比同盟は重要で、両国の協力を継続していく」と述べたと語っていました。

ドゥテルテ氏は「本当に国を発展させたいなら、戦争はいらない。だから、軍事同盟は要らないと安倍氏に言った」と強調。「フィリピンの時代、私たちの時代だ。(外国軍は出ていくべきだ)と述べました。

各地のとらきみ

福井 「南スーダンから自衛隊の撤退早く！」 福井県共同センター宣伝行動

憲法改悪反対、九条を守る福井県共同センターは9日、戦争法廃止を求めて福井市のJR福井駅西口前で宣伝しました。事務局の落合義行さんや共産党の佐藤正雄県議が、横断幕を広げ、「戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター」作成のリーフを配りながら、アピールしました。

落合さんらは「憲法違反戦争法を廃止し、南スーダンに派遣されている自衛隊を一刻も早く日本にもどすべきです」と訴えました。

福井市の男性は「安倍さんの強硬にやり方は、ひどい。これに代わるところができていないから、続くんた。野党は結束すべきだ」と話しました。また、バス停留所にいた高校生の男女2人組は安倍政権がねらう9条改憲に、「やばいです。だめですよ」と語りました。

東京・日野 450人が参加して「ピースフェスティバル」を開催！

東京都日野市で15日、寒い中、450人が参加して「ピースフェスティバル」が行われました。

「ピースフェスティバル」は「戦争いやだ！平和憲法を守ろう！日野市民の会」が主催したもの。「月桃の花」歌舞団の沖縄民舞で開幕し、手作りの憲法劇「あたらしい憲法草案のはなし」が上演され、参加者から「自民党憲法草案」の怖さが分かったとの声が寄せられました。

市民スピーチではプラカードや横断幕を持って、「高幡台団地9条の会」「健康友の会」「日野市民連合」の人たちが登壇し、それぞれの立場から平和の願い、憲法を生かす思いを語りました。

日本共産党の佐藤あや子昭島市議団長（衆院東京21区候補）があいさつ。社民党、日野生活者ネットワークの代表もあいさつし、小沢一郎自由党代表のメッセージも披露されました。

参加者は終了後、会場からJR中央線豊田駅近くまで約2キロをパレードし、「平和を守ろう」とアピールしました。



愛知憲法会議

(愛知憲法通信より)

新年早々から奮闘しています愛知憲法会議、28日には定期総会を開催し、2月11日には第51回目の「建国記念の日」不承認・愛知県民のつどいを開催します。

★ 2017年定期総会

日時：2017年1月28日（土）13:30～17:00

場所：愛知民主会館2階

記念講演：杉浦一孝（愛知憲法会議委員、名古屋大学名誉教授）

演題：ロシアの立憲主義（仮）

※終了後に、近く中華料理屋で新年懇親会を開催します。

★ 2・11 第51回「建国記念の日」不承認・愛知県民のつどい

「戦後70年を考える」

日時：2017年2月11日（土）14:30～（開場14:00）

場所：東別院ホール（東別院会館3Fホール）

講師：木村草太・首都大学東京教授（憲法学）

講演テーマ：「改憲問題について 一天皇の生前退位と憲法9条一」

主催：思想・信教・教育の自由を守る愛知県民のつどい実行委員会

資料代500円

昨年秋の
あいちけんぼうカフェ

